

感謝のうちに、とどまってほしい。そこは非常に好ましい場所——わたしの臨在の光が温かくあなたを包んでいる所だ。あなたは、願っていた祈りの答えを受けるまでは非常に熱心に祈る。わたしが求めに応じると、あなたは感謝と喜びで応対する。しかしあなたには、一つの答えをもらった後、すぐさま、次の問題へと移って行ってしまいう傾向がある。しばらくの間は、感謝に満ちた喜びの態度を保ち続けてほしい。ほんの一時だけ、派手に感謝して終わってしまう代わりに、わたしが何をしたかを思い出すように自らを訓練することで、この喜びがそれ以降も自由に流れて行くようにしなさい。その実践方法の一つは、他の人々にそのことを話して聞かせることだ。こうすることは、聞いた人々とあなたの両者を祝福し、またわたしを喜ばせることでもある。他にも、あなたが何度も見る場所に、わたしに祈ってこたえられたことを書いておくという方法がある。感謝をわたしに表し続けなさい。この感謝に満ちた態度は、祈りが答えられたという喜びの記憶と、わたしと喜びを分かち合ううれしさという、二重の祝福をもたらすだろう。

【新改訳 2017】

詩編 95:2

感謝をもって御前に進み賛美をもって主に喜び叫ぼう。

I コリント 15:57

しかし、神に感謝します。神は、私たちの主イエス・キリストによって、

私たちに勝利を与えてくださいました。

I 歴代誌 16:12

主が行われた奇しいみわざを思い起こせ。その奇跡と御口のさばきを。